



**2025年
6月号**

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<https://www.nskk-kobe.org/>

発行責任者
司祭 林 和 広

印刷所
文明堂印刷所

昇天日を迎えて

司祭 ヨシユア 長 田 吉 史

【主イエスのご昇天】

私たちは毎年、主イエスの死とご復活の後、40日目の木曜日、主イエスのご昇天をお祝いします。この祝日は、

マルコによる福音書やルカによる福音書、そして使徒言行録が伝えるご昇天の記事を背景に置いています。このうち、ルカによる福音書と使徒言行



録は、同じ著者が執筆したと言われていますが、双方にその主イエスのご昇天の記事が収められています。これは、イエスの宣教を伝えるルカによる福音書と弟子たちの宣教を伝える使徒言行録とを、昇天によって結んでおり、イエスの時代から教会への橋渡しと考えられています。

【弟子たちの使命】

ところでルカによる福音書は、イエスが天に上げられる前に、弟子たちに担うべき使命を伝えていきます。その使命とは、この世への証し人となることです。それは、『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。また罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる人々に宣べ伝えられる』こと

の証し人です。つまり、キリストのご受難とご復活をもとにした、「悔い改め」の証し人です。

【悔い改める】

「悔い改め」とは、「回心」と言うことでもありますが、しかしそれは心を改めると綴る改心ではありません。心を回す、回る心と綴る回心で、それは神様に自分の心に向けること、神様の方に自分の向きを回転させて、神様を仰ぎ見て生きること、です。自分の心の中を改めるよりも、心の中身をきれいに洗濯するよりも神様を向いて生きることです。そのために神様がまず、キリストの十字架によって罪の赦しを与えてくださっているのです。

【聖霊降臨を迎える前に】

主イエスは、そのような「悔い改め」をあらゆる人々に宣べ伝える使命を弟子たちに与えたのでした。この使命は、神様が私たちの命のためになされたことを知らせるのであって、私たちがしたことをご知らせるのではありません。しかし昨今、至るところで「私たちがしたこと知らせ」がとても多いような気がしています。そうやってしまっているのは、私たちの心がどこに向いているのか、ということも一つの原因だと思えてなりません。私たちは、改めて、主イエスのご昇天が伝えていられることを通して、自分自身を見つめ直したいものであります。それこそが、聖霊降臨の日を前に求められていることであって、その上で、イエスの弟子たちのように、神様と私たち、私たちと私たちをつなぐ力であり愛である聖霊に導かれて、教会生活を歩んでいきたいものであります。

(神戸昇天教会牧師)

2023年 日本聖公会宣教協議会からの呼びかけ⑦

3 世界の声に耳を傾けよう(神が創られた自然・世界・社会)

「地球のいのちに仕える…教会が出来るSDGsは？」

司祭 バルナバ 瀬山 会 治

「持続可能な開発目標(SDGs)とは、すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための青写真です。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決を目指します。SDGsの目標は相互に関連しています。誰一人置き去りにしないために、2030年までに各目標・ターゲットを達成することが重要です。(国際連合HPより)」

SDGsとは、環境破壊に対する全世界的な保全活動の目標のことを言い、聖公会もこれに賛同しています。1998年のランベス会議に基づき、全聖公会の諸教会が宣教の目標として掲げている

「宣教の5指標」にも「被造物の本来の姿を守り、地球の生命を維持・再生するために努力すること」とあります。また、2022年のランベス会議ではこれをさらに進め、ランベス・コールとして「環境と持続可能な開発」の中で「聖公会員は、聖書と『宣教の5指標』に反映されている教会の教えを堅持する。これらは意識的な弟子として生き、神の世界のための神の教会となるための明確なビジョンと全体的な枠組みを提供する。それらは、私たちが神の国の良き知らせを宣言し、弟子を養い、人々と地球への関心、正義、平和、弱い人々への配慮、そして被造物を保護する私たちの義務(創世記2章15節)を表明し、地球の生

命を維持・再生する(宣教の第5指標)よう求めています。』と呼びかけられています。神様が創られた、私たちの住む地球環境を後の時代に伝えるために教会ができることは何でしょうか。そのことが教会の宣教として求められています。



南海トラフ地震にそなえて No.2

ハザードマップを見てみる

防災・減災の第一歩として、つい私たちは大きな事を考えずしてしまいがちです。しかしお金がかからず、それでいて何よりも大切な防災作業があります。

それは、住んでいる地域のハザードマップをしつかりと確認することです。マップは、年初めか、地域によつたら梅雨前辺りに配られます。

また紙媒体だけでなく、スマホなどでも「ハザードマップ○○市」と検索すれば、入手する事が出来ます。

地図には、地震の津波浸水域や、梅雨時などの大雨による土砂災害発生箇所等が記載されています。

それを基に住む地域が色々な災害時にどうなるのか、知っておくことは重要です。

また災害時の避難所、そこまでの経路の確認や、家族がバラバラであった場合、どこで集まるか等を地図を広げつつ考えて見るのも大切だと思います。是非確認をしておきましょう。

司祭 坪井智(社会部記事)



世界の聖公会の動向

司祭 ポール・トルハースト
(管区事務所渉外主事)

3月地震後のミャンマーの圧倒的な危機

ミャンマー聖公会の大主教であるステイーブン・タン師は、3月下旬にミャンマー全土の6つの地域を襲った大地震の余波について、「この危機の大きさは圧倒的です」と述べた。

マンダレー近郊を震源とするマグニチュード7.7の地震はタイでも感じられ、ミャンマーを襲った地震としては過去100年以上で最も強いものだった。

「多くの命が失われ、数え切れないほどの建物が倒壊しました。この危機は、救助隊員、生活必需品、医療従事者の深刻な不足を招いています。ミャンマー聖公会のマンダレーとタウングーの2つの教区は、甚大な被害を受けています。」とステイーブン大主教はアピールに書いている。



死者数が4500人を超える中、ミャンマー聖公会は災害対策委員会を組織し、救援と復旧の圧倒的な需要に応えようと奮闘していると説明した。

「さらに、私たちの教会は、避難所や人道支援を求める非キリスト教徒の地震被災者の避難場所となっています。マンダレー教区とタウングー教区の両教区は、食糧、水、医薬品、一時的な避難所、蚊帳、たいまつなど、最も緊急に必

要なものの配給を行っていません」と大主教は述べた。

レゴの教会のレプリカが実物の注目を集める

ジェームズ・スペンサー牧師は、8歳のときからレゴブロックで作品を作ってきた。その生涯にわたる趣味によって、カナダ、ニューヨーク、ドランド島にある彼のパリッシュであるセント・メアリーズ・アングリカン教会が注目を集め、地元の子どもたちへの新たな奉仕活動の核となっている。

この1年間、スペンサー師は教会の建物の模型をレゴブロックの「スタッド」（レゴブロックの基本単位で、ブロックを連結するための突起の1つで区切られる）1つにつき1フィート（約30センチ）の縮尺で作ってきた。

「必要なブロックを全部集め、教会で寸法を測り、すべてを計算して作り始めました。必要なピースを全部揃えるのに1年かかり、かなりの数のレゴを注文しましたが、

ほぼ期待通りの仕上がりになったと思います」と彼は述べる。

作品の大きさは幅約30センチ、奥行き約60センチで、教会のバリアフリースロープからステンドグラスの窓まで、あらゆるものを再現しているという。さらに教会の座席にはミニフィギュアの信徒たちが座っている。彼がこの模型を作り始めたのは、聖職に就いた最初の年に温かく迎えてくれた教区に感謝の気持ちを伝えるためだったが、その反響は予想以上に大きかった。

スペンサー師はまた、教会で新たに開始したレゴを使ったアウトリーチ活動を通して、教会が人々の生活の中に存在感を持つよう努めている。主催者たちは、信徒や地域住民から寄付されたレゴブロックを集め、プログラム開始に必要な量を集めてきた。このプログラムでは、地元の子どもたちが教会に集まり、楽しみながらレゴを組み立て、時にはチャレンジ・プロジェクトに挑むこともある。

スペンサー師によると、このプログラムにはあからさまに宗教的な要素はないけれども、アウトリーチ活動として価値のあるものになるためには、必ずしも宗教的である必要はないという。

「教会は必ずしも聖書を若者に押し付けるのではなく、若者とながら必要があるとは強く信じています」と彼は言う。

教会が若者の人生に前向きな存在となることから始めれば、長期的にはより良い関係という形でそれが報われるだろうと彼は信じている。

「聖公会は長い間、教会堂の中に閉じこもり、人々が基本的な期待や伝統から教会に足を運んでいた時代を夢見てきました。しかし、そんな時代は終わりました。私たちは地域社会に出て行く必要があります。私はむしろ、人々が私の教会を他の場所で、そして時には私たちの建物でも見てくださいることを望んでいます」

(神戸MtSチャプレン)

鳩だより

《敬称略》

祝 洗 礼

3月14日(金)

マリア 石橋 順子
米子聖ニコラス教会

ご 逝 去

3月14日(金)

マリア 石橋 順子
米子聖ニコラス教会

4月20日(日)

エリザベト 武田 早紀
高知聖パウロ教会

4月9日(水)

ロ ダ池 田 征子
神戸聖ミカエル教会

4月20日(日)

イザベラ 河野 佐知子
シエナのカタリナ

4月10日(木)

ヘレ ナ 永井 保子
神戸聖ミカエル教会

4月20日(日)

三崎 百合子
神戸聖ミカエル教会

4月11日(金)

ヨハンナ 西村 美禮子
明石聖マリア・マグダレン教会

4月20日(日)

ル カ北 島 隆史
姫路顕栄教会

4月13日(日)

ペテロ 村上 薫
神戸聖ミカエル教会

教 籍 移 動

4月27日(日)

アントニオ 豊田 稔人
福山諸聖徒教会から
カトリック福山教会へ

4月15日(火)

クララ 浜口 秀子
神戸聖ミカエル教会

日本聖公会神戸教区 中高生大会 のご案内

日 程 8月12日(火) ~ 14日(木)
場 所 広島県似島歓迎交流センター
テ ー マ 青笑燃夏 2泊3日の大冒険

7月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2025年7月3日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 司祭 瀬山 会治
説教 司祭 長田 吉史

どなたでもいらしてください

* 7月の記念逝去教役者

- 1日 司 祭 ロバート コール マン
- 3日 伝道師 小 川 淳 一
- 5日 司 祭 レジナルド セイバリー
- 6日 宣教師 フレデリック ウォーカー
- 11日 伝道師 マリア 横 田 キヨ
- 12日 修 女 ユニケ 岡 上 千 代
- 14日 司 祭 パウロ 中 村 弘
- 15日 宣教師 オクタビア ジュリアス
- 15日 司 祭 ウイリアム リチャーズ
- 19日 司 祭 マッテヤ 末 永 恵
- 20日 司 祭 広 瀬 健 介
- 21日 宣教師 ドロシー ケ 一 ス
- 22日 伝道師 グレース 小 西 道
- 27日 宣教師 ルイズ ガ ル ゲ 一
- 28日 主 教 マルコ 小 池 俊 男



オンライン ペンテコステ会
6月14日(土) 14:00~16:00

参加費: 無料
対 象: 小学校高学年~高校生(18さい)
内 容: お祈り、聖書のお話、ゲーム(プレゼントあり)
申 込: Googleフォーム
<https://forms.gle/nwPv37DnLfFuPHu48>

参加希望者は右記のQRコードから申し込みください。
後日、オンラインツール(Zoom)の招待メールを送ります。

主催・問い合わせ: 西日本宣教協働区・青年担当者
神戸教区 司祭 杉野達也
九州教区 執事 佐藤 充
沖縄教区 執事 仲宗根達祐

問い合わせ先: nskk.west.youth@gmail.com

